

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	インターナショナルアンジェリカ下目黒6丁目保育園
施設所在地	東京都目黒区下目黒6-15-18
法人名	株式会社WITH

1. 活動のテーマ

<テーマ>

バランス系の動きを行い、バランスコーディネーションをする。また、片足立ちなどで指先の動きや使い方を学ぶ。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

前回に引き続き、バランス系の動きを行いながらバランスコーディネーションを行うことができるようにする。その中でも指先でのバランスや片足立ちなどを取り入れ、身体の使い方を知れるようにする。

2. 活動スケジュール

5分→導入、挨拶、説明

その後は子どもの様子を見ながら動機づけ遊びを行っていき、遊びに応じて環境を変えていく

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

巧技台、丸形はしご、はしご、マット、ビーム、フープ

4. 探究活動の実践

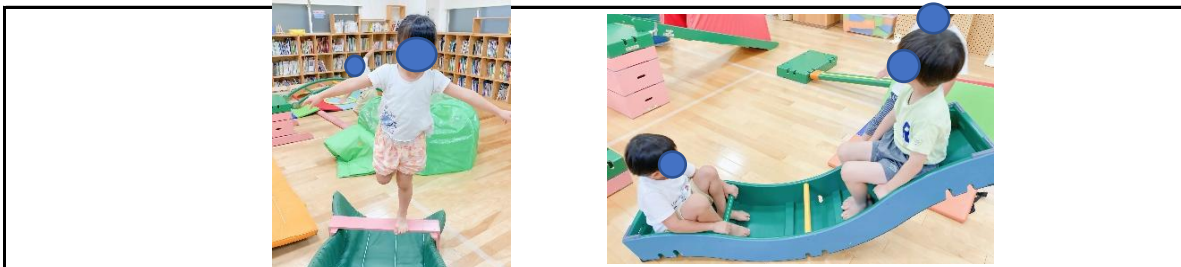
<活動の内容>

巧技台や滑り台を用いて、色々な動きを展開していけるようにするとともに、マットなどを置いておき、子どもが自由に用具を用いて遊び込めるようにしていく。また、遊びの中でバランス系の動きを行えるように子どもの様子を見ながら動機づけ遊びを行っている。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

初めはいつものように巧技台で遊ぶ姿があったが、講師が動機づけ遊びを行うと興味を持ち、同じ動きを行う姿があった。その後は子ども同士で話し合いながらマットを滑り台の上に乗せ、2人組でバランスを取りながら滑ったり、巧技台を縦に置き、その上に登ってバランスを取ったりなど自分たちで考えながら遊びを展開していく姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

滑り台の上でマットを置いて滑る遊びでは初めて行った際は縦型に置き、なかなか滑らず苦戦する姿が見られたが、子ども同士で話し合い、マットを折りたたんでバランスを取りながら滑っていくなど大人の介入のない実践活動を行うことが出来ていた。また、自分で用具を用いて環境を作る際には自分の身体の可動域を理解し、マットを下に敷いておくなどする姿が見られるようになった。